

第4回シンポジウム in 奄美

「日々の診療への応用」

2011年11月25日(金)

於:大島郡医師会館 (奄美市名瀬塩浜町)

ここ数年、地域医療教育が重要視され、研修医には地域医療研修が義務化されております。また、医学生に対する地域医療実習も広く行われるようになりました。奄美地域におきましても、日常の診療を医学生や研修医にみせる機会も増えてきております。そこで今年も奄美市名瀬にて「地域医療シンポジウムin AMAMI」を開催いたしました。

今年は、地域医療教育・診療・研究の第一人者である、自治医科大学地域医療学センター 地域医療人材育成部門 准教授 三瀬順一先生をお招きし、皆様の日常診療におけるEBMの応用をテーマに、講演を頂きました。また、地域医療実習にいち早く取り組んできた、鹿児島大学の地域医療実習の現状を当センターの大脇哲洋特任教授が話をいたしました。

-プログラム-

日 時:平成23年11月25日(金曜日) 19:00~20:30

場 所:大島郡医師会館

教育講演:「地域医療実習の実践」

大脇 哲洋(鹿児島大学 離島へき地医療人育成センター 特任教授)

司 会:根路銘 安仁(鹿児島大学 離島へき地医療人育成センター 特任准教授)

特別講演:「医療情報のワナ:日常で使うEBM」

三瀬 順一 先生(自治医科大学地域医療学センター地域医療人材育成部門 准教授)

司 会:嶽崎 俊郎(鹿児島大学 離島へき地医療人育成センター センター長)

主 催:鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 離島へき地医療人育成センター

協 力:鹿児島県大島郡医師会、鹿児島県医師会



シンポジウムの様子



特別講演(三瀬 順一先生)